

松山市 中小企業等実態アンケート調査

<調査票の回答方法について>

1. 郵送で回答される場合

①下欄に貴社名(個人事業主の場合は屋号)、所在地、ご回答者をご記入の上アンケートにご回答いただき、折り目で三つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてください。

②返信用封筒にはお名前や住所は記載せずに、**8月9日(金)までに**ポストに投函してください。

- ◆ 設問ごとの説明にしたがって、鉛筆・ボールペンなどで、あてはまる番号に○印をつけてください。
- ◆ 選択肢のなかで「その他」と回答された場合や自由記述の設問は、具体的な内容をご記入ください。

2. インターネットで回答される場合

下段の「インターネット回答利用ガイド」をご参照の上、回答してください。

※紙のアンケートの記入・提出は不要です。他に使われないように廃棄してください。

インターネット回答
専用サイト

[https://52247950.form.kintoneapp.com/public/
chusyo-matsuyama](https://52247950.form.kintoneapp.com/public/chusyo-matsuyama)



<インターネット回答利用ガイド>

上記URLまたは二次元コードからインターネット回答専用サイトにアクセスの上、
順次ご回答ください。

- ◆ 回答を中断する場合は、回答画面の最下部にある「一時保存」をクリックします。
- ◆ 回答を再開する場合は、回答専用サイトにアクセスすると「回答中のデータがあります。再開しますか?」と表示されますので、「再開する」をクリックして回答を再開します。
※一時保存をしたPC・端末からアクセスする必要があります。
- ◆ すべての回答が終わったら、回答画面の最下部にある「回答」をクリックします。
下の画面が表示されれば、完了です。



ご回答ありがとうございます！

ご回答にあたって、貴社名と所在地をご記入ください。

貴社名	
所在地	

ご回答いただく方についてご記入ください。

回答者氏名		回答者役職	
E-mail		電話番号	

(回答について問い合わせさせていただく場合があります)

I 企業概要について

貴社の概要についてご記入いただき、あてはまる番号に○をつけてください。

業種 (最も売上の多い事業 に1つ○)	1. 建設業 2. 製造業 3. 情報通信業 4. 運輸業、郵便業 5. 卸売業 6. 小売業 7. 不動産業、物品賃貸業 8. 学術研究、専門技術・サービス業 9. 宿泊業 10. 飲食サービス業 11. 生活関連サービス業、娯楽業 12. 教育、学習支援業 13. 医療、福祉 14. その他のサービス業 15. その他 ()		
組織形態・設立年等 (右から1つ○を つけて数字記入)	1. 法人企業 : (設立 西暦 年) ※法人成りした場合はこちら 2. 個人事業主 : (創業 西暦 年) ※開業届の提出年		
直近決算の年間売上高 (右から1つに○)	1. 300万円未満 2. 300～500万円未満 3. 500万～1千万円未満 4. 1～5千万円未満 5. 5千万～1億円未満 6. 1～3億円未満 7. 3～10億円未満 8. 10～30億円未満 9. 30億円以上		
資本金(法人のみ) (右から1つに○)	1. 100万円未満 2. 100～300万円未満 3. 300～500万円未満 4. 500万～1千万円未満 5. 1～5千万円未満 6. 5千万～1億円未満 7. 1～3億円未満 8. 3億円以上		
従業員数 (生計を一にする 家族以外の人数)		男性	女性
	正規社員	人	人
	非正規社員 (臨時・パート・アルバイト等)	人	人
代表者の年齢 (右から1つに○)	1. 30歳未満 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代 7. 80歳以上		
代表者の性別 (記入は任意です)	1. 男性 2. 女性		

II 経営状況と今後の方向性について

- (1) 5年前（新型コロナウイルス感染症拡大前年の2019年）と比較した売上高の傾向について、あてはまる番号に○をつけてください。【○は1つ】

※設立・創業5年未満の場合は、回答不要です。

※以下の選択肢で、「横ばい」…5%以下の増減、「やや」…5%を超え30%以下、「大幅」…30%を超える、としてお答えください。

1. 大幅に増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 大幅に減少
→ 問(1)-1 へ			→ 問(1)-2 へ	

- (1)-1 上記 (1) において「**1. 大幅に増加**」「**2. やや増加**」を選択した方のみお答えください。理由について、あてはまるものに○をつけてください。【○はいくつでも】

【売上高が増加した理由】

1. 新たな販売先の開拓	5. 従業員数の増加	9. その他（括弧に具体的に）
2. 新事業への進出	6. 設備の増強	()
3. 新商品・新サービスの提供	7. 合併・吸収による組織拡大	10. わからない
4. 販売単価の引き上げ	8. 広告・宣伝の強化	

- (1)-2 上記 (1) において「**4. やや減少**」「**5. 大幅に減少**」を選択した方のみお答えください。理由について、あてはまるものに○をつけてください。【○はいくつでも】

【売上高が減少した理由】

1. 製品・サービス力の低下	5. 市場の縮小	8. その他
2. 販売単価の下落	6. 競争の激化	()
3. 従業員数の減少	7. 取引先・取引金額の減少	9. わからない
4. 広告・宣伝の縮小		

- (2) 5年前（新型コロナウイルス感染症拡大前年の2019年）と比較した経常利益の傾向について、あてはまる番号に○をつけてください。【○は1つ】

※設立・創業5年未満の場合は、回答不要です。

※以下の選択肢で、「横ばい」…5%以下の増減、「やや」…5%を超え30%以下、「大幅」…30%を超える、としてお答えください。

1. 大幅に増加	2. やや増加	3. 横ばい	4. やや減少	5. 大幅に減少
→ 問(2)-1 へ			→ 問(2)-2 へ	

- (2)-1 上記 (2) において「**1. 大幅に増加**」「**2. やや増加**」を選択した方のみお答えください。理由について、あてはまるものに○をつけてください。【○はいくつでも】

【経常利益が増加した理由】

1. 新規顧客の獲得	5. 人件費削減	9. 付加価値の向上
2. 販売単価・客単価の上昇	6. 人件費以外の経費削減	10. その他
3. 資産の売却	7. 生産性の向上	()
4. 仕入・原材料費の低下	8. 新技術・IT の導入	11. わからない

(2)-2 上記 (2) において「**4. やや減少**」「**5. 大幅に減少**」を選択した方のみお答えください。理由について、あてはまるものに○をつけてください。【○はいくつでも】

【経常利益が減少した理由】

1. 人件費の増加	5. 市場の縮小	8. 取引先の減少
2. 人件費以外の経費の増加	6. 競争の激化	9. その他
3. 従業員数の減少	7. 販売単価・客単価	()
4. 広告・宣伝の縮小	の横ばい・下落	10. わからない

(3) 今後 3～5 年の方向性として、どのような展開を考えていますか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 新規事業への進出、新規顧客の獲得等 による売上の拡大	5. 多様な人材の活用 (女性、高齢者、障がい者等)
2. 付加価値の向上による収益力の拡大	6. SDG s など社会課題への対応
3. (少ない労働力でも) 効率的な生産活動、 サービスの提供の確立	7. 事業・サービス等の選択と集中 (縮小含む)
4. 既存ビジネス・商品の品質の維持	8. 廃業
	9. その他 ()

(4) 今後の方向性として、事業所・店舗・設備の拡張・増設や縮小 (閉鎖・廃業含む)、移転、組織再編などを検討していますか。検討している場合はあてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 販路拡大・他地域進出・海外展開	7. 省力化投資の推進
2. 新事業・新商品開発	8. 事業縮小・撤退
3. インターネット販売 (含む越境 E C)	9. 閉鎖・廃業
4. 合併・M&A (売手側)	10. 業種・業態転換
5. 合併・M&A (買手側)	11. その他 ()
6. 他社との連携・共同化	

(5) 同業他社と比べて、貴社が優れている点、強みとしている点は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 経営者の力量の高さ	7. 人的ネットワークの幅広さ	13. 伝統、理念の継承
2. 従業員の能力の高さ	8. 商品・サービスの高い品質	14. コンプライアンスの徹底
3. 生産効率の良い設備の整備	9. 価格の安さ	15. 脱炭素等の環境への対応
4. 効率的なシステム化の構築	10. 納期の順守、迅速な対応	16. 地域社会への密着度
5. 財務状況の健全さ	11. 売り方、見せ方のうまさ	17. その他
6. 特許・ノウハウ等の技術力	12. 商品・サービスの独自性	()

(6) 今後の方向性において、松山市に期待する支援策があればあてはまる番号に○をつけてください。

【○はいくつでも】

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 価格交渉・販売条件交渉に関する研修 | 9. 事業承継に関する支援 |
| 2. 新規事業・新商品開発に関する支援 | 10. 働きやすい職場づくりへの支援 |
| 3. 合併等の M&A 支援 | 11. 人材確保に関する支援 |
| 4. 共同配送など連携・共同化の推進支援 | 12. 賃上げに関する支援 |
| 5. 設備投資における補助金や利子補給 | 13. デジタル化、DX に関する支援 |
| 6. 県内・県外への販路開拓支援 | 14. 脱炭素等の環境対応への取組支援 |
| 7. 海外への販路開拓支援 | 15. その他 () |
| 8. インターネットを使った販売への支援
(EC、SNS の活用等) | 16. 特にない |

III 事業承継について

(1) 現時点での事業承継の予定について、あてはまる番号に○をつけてください。【○は1つ】

1. 後継者が決まっており、その後継者に承継する予定	問(1)-1～(1)-3 へ
2. 後継者は決まっていないが、候補はある	
3. 後継者は決まっておらず、候補もいないが、事業を継続（承継）したい	
4. 後継者がいないため、事業の売却等を考えている	
5. 現経営者がまだ若いため、後継者を決める必要がない	問(1)-1～(1)-3 は回答せず、 次頁へ
6. 現在の事業を継続する予定はない	
7. その他 ()	

※以下の(1)-1～(1)-3の問は、上記 (1) において **1～4 を選択** した方のみお答えください。

(1)-1 事業承継を行う場合、現時点でどのような承継方法を考えていますか【○は1つ】

- | | | | | |
|-----------|-------------|-----------|------------|-------|
| 1. 親族への承継 | 2. 社内人材への承継 | 3. 社外から招聘 | 4. M&A の活用 | 5. 未定 |
|-----------|-------------|-----------|------------|-------|

(1)-2 事業承継において課題と考えているところはどんな点ですか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 後継者・承継先企業の不在	5. 承継される負債の取扱い
2. 親族内での調整	6. 承継手法等の相談相手がない
3. 社内(従業員)の調整	7. その他 ()
4. 取引先、金融機関等との調整	8. 特にない

(1)-3 事業承継において松山市に期待する支援策について、あてはまる番号に○をつけてください。

【○はいくつでも】

1. 経営幹部候補者への研修	5. 経営統合や M&A の実務に詳しい人材 (例：税理士) の紹介
2. 経営統合や M&A に関する企業紹介	
3. 事業承継・引継ぎに関する相談窓口の設置	6. その他 ()
4. 将来の事業承継に向けた情報提供 (セミナー開催等)	7. 特にない

IV 採用・人材育成・定着について

- (1) 貴社の正規社員の月給（総額）は、5年前（新型コロナウイルス感染症拡大前年の2019年）と比較して、どの程度増加または減少していますか。あてはまる番号に○をつけてください。【○は1つ】

※設立・創業5年未満の場合は、回答不要です。

※以下の選択肢で、増加率は正規社員月給の定期昇給とベースアップの合計としてお答えください。

1. 増加（20%以上）	4. 増加（3～5%未満）	7. 減少
2. 増加（10～20%未満）	5. 増加（3%未満）	8. 正規社員はいない
3. 増加（5～10%未満）	6. 横ばい	

- (2) 貴社では、賃上げのためにどのような取組をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

【○はいくつでも】

1. 費用増の価格への転嫁の交渉	4. 多能化・リスクリング等の従業員の育成支援	7. 経費節減・コストカット
2. 賃上げを支援する補助金の活用	5. 人事評価制度の見直し	8. その他 ()
3. 省力化投資による生産性向上	6. 売上や利益の拡大	9. 特に取り組んでいない

- (3) 貴社における賃上げの課題について、あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 価格転嫁の交渉が進まない	5. 賃上げのための資金が不足している
2. 省力化投資の負担の割には生産性向上の効果がない	6. 相談できる相手がいない・わからない
3. 適切な人事評価制度を設計できない	7. その他 ()
4. 多能化・リスクリング等の育成支援が効果をあげていない	8. 特にない

- (4) 現在の従業員の過不足感について、感覚に最も近いものに○をつけてください。【○は1つ】

1. かなり不足	2. やや不足	3. 適正	4. やや過剰	5. かなり過剰
----------	---------	-------	---------	----------

- (5) 貴社の従業員数は、5年前（新型コロナウイルス感染症拡大前年の2019年）と比較して、どう変化していますか。あてはまる番号に○をつけてください。【それぞれ○は1つ】

※設立・創業5年未満の場合は、回答不要です。

従業員全体		1. 増加	2. 横ばい	3. 減少
雇用 形態	正規社員	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少
	非正規社員	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少

- (6) 新規採用者数について、5年前（新型コロナウイルス感染症拡大前年の2019年）と比較して、どう変化していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

【それぞれ○は1つ】

※設立・創業5年未満の場合は、回答不要です。

従業員全体		1. 増加	2. 横ばい	3. 減少	4. 採用なし
雇用形態	正規社員	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少	4. 採用なし
	非正規社員	1. 増加	2. 横ばい	3. 減少	4. 採用なし

- (7) 貴社において、人材は計画どおり採用できていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

【○は1つ】

1. 計画どおり採用できている	4. 全く採用できていない
2. 計画をやや下回っている	5. 採用計画はない
3. 計画を大幅に下回っている	

- (8) 貴社において、新規採用のために取り組んでいること、または取組を検討していることはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. ハローワークへの求人	8. 初任給の引き上げ
2. 大学・高校等への求人	9. 柔軟で働きやすい環境の整備
3. インターンシップ・職場体験の受入	10. 能力・スキル向上の支援体制の整備
4. 合同会社説明会への参加	11. SDGs など社会的課題解決への対応
5. 採用支援サービス等の活用	12. 奨学金の代理返済制度
6. 就活サイトに登録	13. その他（_____）
7. HP、SNS による情報発信	14. 特に取り組んでいない

- (9) 貴社において、人手不足に対して取り組んでいること、または取組を検討していることはありますか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 中途・経験者採用	7. 柔軟で働きやすい環境の整備
2. 非正規社員の採用	8. 設備投資、DX による省力化
3. 外国人材の採用	9. 定年の延長
4. 障がい者の採用	10. 積極的な再雇用や再任用
5. 外部委託（複業を含む）の推進	11. その他（_____）
6. 給与水準の引き上げ	12. 特に取り組んでいない

- (10) 貴社では、人材育成のためにどのような取組をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 社外の教育・研修・講演会への派遣	7. 計画的なOJTの実施
2. 社内での教育・研修・講演会の実施	8. 多能化・リスクリングの支援
3. 社員の自主的な学習への時間的支援	9. 技術・知識のマニュアル化
4. 社員の自主的な学習への資金的支援	10. 業務手順の可視化・共有化
5. 社外との人事交流/企業連携	11. その他（_____）
6. 技能・能力テストの実施	12. 特に取り組んでいない

(11) 貴社では、働きやすい環境の整備のためにどのような取組をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 他社よりも高い賃金水準の確保	6. 育児・介護、家賃・住宅等の補助・手当
2. 成果や業務内容に応じた人事評価及びその実践	7. 研修・能力開発支援
3. 管理職の（マネジメント、ジェンダー等）意識改革	8. 先輩社員等による相談体制の確立
4. 勤務時間・場所の弾力化（フレックスタイム制、短時間勤務、リモートワーク等）	9. 兼業・副業制度の導入
5. 職場環境・人間関係への配慮（コンプライアンスの徹底等）	10. その他（_____）
	11. 特に取り組んでいない

(12) 人材面の課題について、あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 採用における知名度がなく、学生等との接点がほとんどない
2. 他社と比較して賃金や労働時間に魅力が無く若手社員が定着しない
3. 多様な労働者（例：外国人、障がい者）を受け入れる体制が無い
4. 社員を育成する仕組み・体制や資金・予算が無い
5. 人材の訓練・育成のための設備や施設が社内になく、または不足している
6. 外部機関の利用や情報収集をしたいが、適切な機関がわからない
7. その他（_____）
8. 特に課題はない

(13) 人材面で松山市に期待する支援策について、あてはまる番号に○をつけてください。

【○はいくつでも】

1. 賃上げへの補助金	8. 大学・短大・専門学校との連携支援
2. 働きやすい職場づくりへの支援	9. 中学生等への職業教育
3. 人材育成への補助金	10. インターンシップや職場体験の受入支援
4. キャリア形成・リスクリングへの相談対応	11. 外国人材の受入支援
5. 兼業・副業を希望する人材とのマッチング	12. その他（_____）
6. 複数企業での就職説明会	13. 特にない
7. 公的機関との連携支援	

V 融資・資金繰りについて

(1) 今後の貴社の資金繰り見通しについて、あてはまる番号に○をつけてください。【○は1つ】

1. 大幅に改善する	4. やや厳しくなる
2. やや改善する	5. 大幅に厳しくなる
3. 変化なし	6. わからない

(2) 今後の貴社の資金繰りに影響を与える要因について、あてはまる番号に○をつけてください。

【○はいくつでも】

1. 売上高の減少（見込み）	6. 金利等の融資条件の変化
2. 人件費の増加（見込み）	7. 新型コロナ関連融資の返済
3. 人件費以外の経費の増加（見込み） （例：原材料費、光熱費等）	8. その他の融資の返済
4. 設備、システム等の更新投資の必要性	9. その他（_____）
5. 新たな設備、システム等の投資の必要性	10. 特になし

VI 生産性の向上等への取組について

(1) 貴社において、(a)現在、ITツールの導入やDXに取り組んでいる項目、および(b)今後、ITツールの導入やDXに取り組みたい項目、また、(c)ITツールの導入やDXに限らず、設備投資を予定している項目はありますか。(a)～(c)ごとにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

<取組項目>	IT ツールの導入や DX について		IT ツールの導入や DX に限らず
	(a)現在 取り組んでいる項目	(b)今後 取り組みたい項目	(c)設備投資を 予定している項目
1. 研究開発・商品企画	1	1	1
2. 生産加工	2	2	2
3. 在庫管理	3	3	3
4. 仕入・調達	4	4	4
5. 流通・販売	5	5	5
6. 保守・アフターサービス	6	6	6
7. 人事・労務管理	7	7	7
8. 経理・会計・財務管理	8	8	8
9. 広報、情報発信	9	9	9
10. 脱炭素化	10	10	10
11. その他 (_____)	11	11	11

(2) 貴社において、ITツールの導入やDXを推進する上での課題は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。【○はいくつでも】

1. 従業員がITを使いこなせない	7. DX等を推進できる人材がいない
2. DX等に取り組もうとする風土がない	8. DX等の導入・運用の資金を確保できない
3. DX等のもたらす効果がわからない	9. 適切な連携先・相談先が見つからない
4. 情報セキュリティの確保が難しい	10. その他（_____）
5. 既存システムからの切り替えが難しい	11. 特に課題はない
6. 推進のロードマップがない、作れない	

(3) 貴社では、D Xに限らずデジタル化全般はどの程度浸透していますか。最もあてはまる番号に○をつけてください。【○は1つ】

1. デジタル化による業務の効率化は図られていない状態（例：紙や電話・FAX が中心）
2. アナログからデジタルに向けたシフトを始めた状態
（例：社内メールの使用や日々の業務などにパソコンを利用するなど）
3. 顧客管理や在庫管理などのデータベース化やデータ分析に取り組んでいる状態
（例：業務効率化のための社内規定の整備や業務フローの見直しなどに取り組んでいる）
4. デジタル化による競合他社との差別化、製品・サービスの差別化や競争力強化に取り組んでいる状態
（例：全社的なデータが統合されたシステムなどを活用している）

VII 新型コロナウイルス感染症拡大前後での経営環境の変化について

以下の項目について、感染症拡大前後で経営上の課題・問題点と感ずる度合いについて、あてはまる番号に○をつけてください。【ア～ケの各項目について、(a)～(c)の時期でそれぞれ○は1つ】

【項目】	(a)感染症拡大前 (2017～2019 年)				(b)拡大期～収束 (2020～2023 年)				(c)現在～ 今後の見通し		
	1. 大いに感ずる	2. やや感ずる	3. あまり感ずらない		1. 大いに感ずる	2. やや感ずる	3. あまり感ずらない		1. 大いに感ずる	2. やや感ずる	3. あまり感ずらない
ア 自社商品の市場、販路の動向	1	2	3	➡	1	2	3	➡	1	2	3
イ 資金繰り	1	2	3		1	2	3		1	2	3
ウ 原材料・仕入コストの上昇	1	2	3		1	2	3		1	2	3
エ 人手不足・定着化	1	2	3		1	2	3		1	2	3
オ 人件費の増加	1	2	3		1	2	3		1	2	3
カ 省力化のための設備投資	1	2	3		1	2	3		1	2	3
キ DX への取組	1	2	3		1	2	3		1	2	3
ク 事業承継	1	2	3		1	2	3		1	2	3
ケ 脱炭素への取組	1	2	3		1	2	3		1	2	3

VIII 市の施策への要望等

松山市に対して今後希望する施策や要望等があれば、自由にお書きください。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。